

議事概要記録

開催日時	平成 25 年 9 月 29 日 9 時 00 分～10 時 00 分	開催場所	和歌山県立医科大学附属 病院中検技師控室
会議種別	平成 25 年度 第 3 回常務会理事会	議 長	
		書 記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、木下 博之、大石 博晃、田中 規仁		
欠席者 〈敬称略〉	なし	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>和歌山県 医療従事功労者賞について 日臨技事業「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」推薦について 日臨技心電学会への対応について 第 10 回和臨技海外人材育成研修の開催について 次年度以降の感染対策講習会派遣推薦者について ピンクリボン南紀の対応について</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>医療従事功労者賞について 公共の福祉増進に功労のあった県民の模範となるべき方を表彰する知事表彰は、コメディカル団体からの受賞は難しい。 同格表彰に看護協会向けにはナース賞があるが、他のコメディカル団体には存在しない。よって、平成 25 年 6 月 26 日より同賞が新規に施行された。当会より今年度の推薦者を決める必要と、次年度以降の推薦候補者規定を定める必要が有るので審議を行った。 今年度は村田前会長を推薦する事となった。26 年度以降の規定について、対象者は現役とすること、和臨技所属 15 年以上とすること、和臨技役員経験者で有ること、知事感謝状受賞者とすること…等々、次回の表彰審査委員会で再度検討する事となった。</p> <p>日臨技事業「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」推薦について 検体部門・生理部門に幅広く精通し、かつ数年先に向けて企画立案・運営が出来る会員を推薦する必要が有る。よって竹中副会長を推薦する事となった。</p> <p>日臨技心電学会への対応について 日臨技から再三心電学会に歩み寄りを申し入れていたにもかかわらず、一方的に日臨技側が原因起因とするような理由でもって決別した経緯を会員に通達した。直ちに日臨技会長は心電学会側に抗議をした（経緯）。日臨技単独で認定心電技師制度を行うにもかかわらず受験資格に心電学会入会を義務付けるのは甚だおかしい話である。次回近畿支部幹事会を通して抗議して頂きたいと言う事となった。</p> <p>第 10 回和臨技海外人材育成研修（アジア研修）について アジア研修については、今年度はタイ臨技との共催事業として行った。第 9 回で終了との考えだったが、広島県臨床検査技師会・岡山県臨床検査技師会との共催が現実的なことになった事により若干の予算が得られる可能性があること、大阪コミュニティ財団に申請し、助成が認められれば、第 10 回も行うことが出来る。和臨技の正式事業ではないが、財団申請等に和臨技の名称使用を承認いただき、かつ来年度（節目の）第 10 回として開催したい。</p> <p>ピンクリボン南紀について 須賀担当理事が病氣療養のため、事業執行に当たり石水技師が代行する話があった。</p>		

	<p>事業執行後は日臨技規約に則った収支決算報告書を提出してもらうよう畑副会長から石水技師に申し伝える事となった。</p> <p>次年度の感染対策講習会派遣推薦者について海南医療センターに打診する事となった。</p>				
記録作成	平成25年10月14日	氏名	田中 規仁	提出	平成25年10月15日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可